

目黒川観桜と庭園美術館

東京の桜の開花日の翌日、いまや人気の目黒川沿いの花見を楽しみました。午前にも関わらず人出がおおく、とても賑やかでウキウキした気分になる観桜でした。川面に枝垂れる櫻の風情は、優美なものでした。

午後は、目黒駅近くの東京都の庭園美術館を訪ねました。ここにある建物は、旧朝香宮の邸宅でアールヌーボーの純洋館作りでした。室内を見学し、ルネ・ラリックのガラスの彫刻に目を奪われました。しかも、岡上淑子さんの展覧会「沈黙の奇蹟」が開催されていました。

本日の歩数は1万歩を越えましたので、万歩計も満足していたようです。

日時：2019年3月28日（木曜日）日帰り

集合：中目黒駅：10時30分（小雨決行）

解散：14時30分 庭園美術館前

参加費：1,000円（入館料、資料代）

参加者：会員14名、非会員2名

リーダー：

順路：中目黒駅改札に集合→
目黒川沿い桜見物 → 目黒
駅近所にて昼食（各自）→
庭園美術館（旧朝香宮邸）見学
→ 目黒駅近くにて解散



目黒川に枝垂れる櫻

目黒川の桜

目黒川は、東京都世田谷区・目黒区・品川区を流れて東京湾に注ぐ川です。この川沿いの約800本のソメイヨシノによる桜並木は、東京の行ってみたいお花見ランキングのNo1です。目黒川を抱くように咲き誇る4kmの桜並木はまるでピンクのベールのようでした。

庭園美術館（旧朝香宮邸）

20世紀初めにヨーロッパで全盛をきわめたアール・デコ様式を随所にとり入れて、1933（昭和8）年に完成した旧朝香宮邸が、庭園美術館の建物です。日本でこの様式の住宅は少なく、今ではここが唯一の例だとされています。宮様の邸宅であったので、1階は公的な



今風の観桜はスマホとイタリアンそしてマンション

場であり2階が私的な住まいだそうです。

展示室は第1～第11までありました。第1～第3室のデザインは、フランスのアンリ・ラパンによるものだそうです。また、玄関に入って正面の大きなガラス飾はルネ・ラリックの鳥のレリーフで、存在感一杯でした。

岡上淑子さんの展覧会「沈黙の奇蹟」

この旧朝香宮の邸宅内では、各洋室に展示がありました。画題に圧倒されそうになり、そろりと鑑賞しました。芸術としての切り取り表現に驚愕でした。



コラージュ



懇親会（有志）

ビール、ワイン、コーヒーを楽しみました。三々五々解散しましたが、有志は目黒駅近くのイタリアンの店で歓談しました